

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表：令和6年 2月 1日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	○			・保育士、児童指導員等、法令に遵守した人員を配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・エレベーターがありますが、入り口とトイレに3cmほどの段差があり、介助が必要な場合があります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・職員会議や面談を通して幅広く意見を取り入れながら行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・1年に1回(12月頃)行っております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・事業所のホームページで公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	・現在第三者委員会は設けておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		・今年は外部研修はほとんど受けることができませんでした。管理者が主体となり、虐待防止などの研修を実施しました。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・アセスメント表に記入いただいた内容を掘り下げてお聞きしながら保護者様のニーズと児童の思いを把握できるように努めております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・様々なアセスメントツールを参考にしながら、独自の様式を使用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・職員各々が意見を出し合い、活動内容を決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・様々な分野の外部講師の活動から、学習レク、運動レク、生活单元などを取り入れて日替わりで計画しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			・平日は個別課題と療育活動、休日は2点に加えて余暇時間も充実できるように1日のスケジュールを立てて活動しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・集団での活動の中にも子ども達の特性に応じた支援をするよう配慮しながら活動を実施しております。 ・来年度は一人ひとりの特性やニーズに合わせた個別療育も検討しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・業務終了後は送迎に出る職員もいるため、毎日業務前の職員会で前日の振り返りと当日の留意点等の確認を行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・保護者様とのモニタリングは6か月に1回、その他職員とは日々情報を交換しながら検討しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			・インクルーシブな活動はほとんどできませんでした。 ・活動内容には留意して粗大運動・微細運動・SSTなどを幅広く取り入れて支援を行っております。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・指導員の意見をまとめた上で、児童発達支援管理責任者が対応しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		・学校からのプリント等での情報提供、送迎時の申し送りなどで情報の共有を行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		・プロフィールブックを提供していただく児童もいますが、お持ちでない方も多く見えるので徹底はしていません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				・該当児童なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		・今年は研修への参加もあまりできませんでした。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	・外出時に現地で他の児童と交流することはよくありますが、あえて機会を設けてはいません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・日々連絡帳に利用時の様子を記入しております。送迎時に直接お話をさせていただくこともあります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		・ペアレントトレーニングとして開催はしておりませんが、ご家庭からの相談等あればお話を伺いながら助言させていただくことはあります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・契約時に説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・ご家庭からの相談等あればお話を伺いながら助言させていただくことがあります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			・今年度は3月に実施予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・受付者、解決責任者を決め、苦情があった場合には調査を行ったうえで迅速に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・お便りやホームページで発信しております。
	35	個人情報に十分注意している	○			・個人情報に関わるものは鍵付きの書庫で保管しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		・書面でのやり取りや、LINEでのやり取りをしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	・現在は行っていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			・各マニュアルを契約時にお渡ししていますが、それきりになっており、認識されていない保護者様も多い為、年に1回配布するよう検討します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・年に1～2回、地震と洪水を想定した訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・虐待防止、人権擁護、身体拘束等の研修を職員間で行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			・支援計画にも記載し、計画の確認を頂く際に一緒に説明し、サインを頂いています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		・職員全員で周知はしていますが、書き漏らしていることもあると思います。口頭で報告はしますが、記録できていないこともあります。